就労支援

	日時・場所	内容
難病患者就職セミナー・個別相談	第１回　9月16日（金）13：00～16：00 第２回　H29年3月17日（金）13：00～16：00	対象：就職を希望する難病患者、難病をもつ有職者 内容：課題の共有、就職支援体制、就職活動の方法 対応：労働関係機関等の関係者

ハローワーク甲府から 難病患者就職サポーター のご案内

ハローワーク甲府では難病のある方を支援する専門相談窓口を設置しました

就労を考えるにあたって、こんな疑問や不安はありませんか？

「難病のことをどんなふうに伝えたらいいのだろうか？」
「どんな仕事をどのくらいできるのか、仕事選びをどのようにしたらいいだろう？」
「ブランクがあるが、どうしたらいいだろう？」
「就職をする際に準備しておいた方がいいことはどんなことだろう？」
「難病の人が使える支援や資源ってどんなものがあるんだろう？」
「難病のことを会社に伝えたほうがいいのだろうか？」
「難病のことを会社に伝えずに働いてきたがうまくいかず離職した。今度はどうしよう」
「働いているが、病気のことが不安」

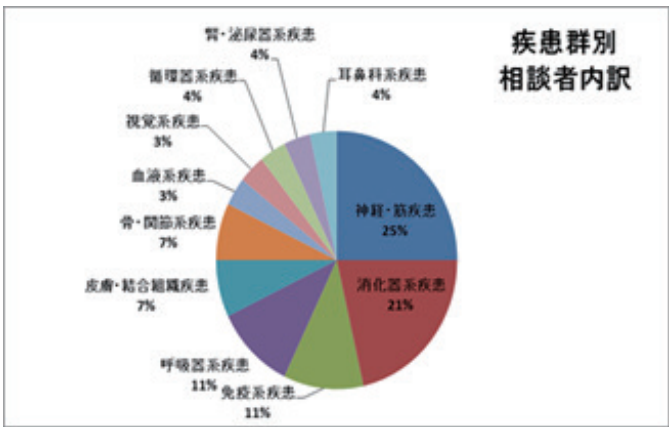
平成27年4月からハローワーク甲府に、難病のある方を支援する専門相談窓口を設置しています。専門相談窓口では、難病患者就職サポーターが山梨県難病相談支援センターと連携しながら、就職を希望する難病患者に対する症状の特性を踏まえた、きめ細やかな就労支援や、在職中に難病を発症した方の雇用継続等の総合的な就労支援を行っています。平成25年度から15都道府県の労働局で実施し、平成27年度より全国47局で実施しています。

ハローワーク甲府では、毎週月曜日と木曜日が難病患者就職サポーターによる相談日となっており、1時間枠の予約制で個別相談を継続的に行っています。相談に来所される方の状況はそれぞれ違いますので、症状の特性や現在の身体状況、就業経験を踏まえ、適切な情報提供や方向性の確認をしながら、就業や今後のキャリア形成の支援を行います。また、キャリア・カウンセリング、応募書類の作成支援、職業紹介、採用面接への同行や、職場定着に向けた支援、適切な専門支援機関への誘導なども行います。

昨年度は250件以上の相談があり、就職された方もおられます。年代も20代から50代と幅広く、疾患名も多岐にわたっております。

難病相談支援センターでの難病患者就職サポーターの活動の様子

また、雇用を促進するための助成金に関する情報提供や、無理なく能力を発揮できる仕事へ就業するための支援、職場での配慮の促進などについても支援を行っています。症状や身体状況によっては、移動手段や時間帯に制限がある方もいらっしゃいます。そのため、山梨県難病相談支援センターや県内のハローワークでの出張相談も行っています。相談には求職登録が必要となりますが、まずは一度ご連絡ください。



ご相談の問い合わせ、申し込み：
ハローワーク甲府職業相談第２部門　担当　武井・井上
電話　055-232-6060（部門コード42＃）
または山梨県難病相談支援センターまでお申し出ください。

蔵書の紹介

センターでは、関係図書の閲覧・貸出を行っています。

「物語としてのケア　ナラティヴ・アプローチの世界へ」
野口裕二著
医学書院,2015.

「ナラティヴ・セラピーって何？」
アイリス・モーガン著
小森康永・上田牧子訳
金剛出版,2014.

「3万人が実感！髪がみるみる甦る」
板羽忠徳著
二見書房,2013.

○「ナラティブ・セラピー」をご存知ですか。人は、人生の中でさまざまな物語（ストーリー）を持っています。その物語がその人の人生を構築していきます。ナラティブ・セラピーは、それらのストーリーについて、過去から未来に向けてもう一度振り返り、無視されてきた出来事に着眼し、今までとは異なる物語を紡ぎだすセラピーです。人は、自分自身が作っている枠組みで生きにくくなってしまっている場合があります。セラピスト向けの著書ですが、自分自身を客観的に見つめる考え方のヒントにもなると思います。
○髪の悩みは、意外と深刻ですね。寄贈図書です。日頃のケアに役立ちますよ！

難病に関係する患者会	連絡先
全国パーキンソン病友の会 山梨県支部	055-253-9666（事務局） （会長　手塚佳樹）
日本ＡＬＳ協会山梨県支部	055-265-1568 （支部長　北嶋英子）
背髄小脳変性症・多系統萎縮症 山梨友の会	055-253-9533 （会長　前田真一）
山梨炎症性腸疾患患者会（あしおと）	055-252-1950 （会長　田草川健）
（網膜色素変性症） 視覚障害者の横の会	0551-22-2754 （会長　穂阪和宏）
日本てんかん協会山梨県支部	055-285-3645 （代表　葛西ヨリ子）
全国心臓病の子供を守る会 山梨県支部	0555-24-3728 （会長　渡辺政文）
山梨県腎臓病協議会（梨腎協）	055-235-4308 （事務局）
全国膠原病友の会山梨県支部 （ぶどうの樹）	0551-30-9033(事務局) （支部長　深澤富江）
多発性硬化症・視神経脊髄炎 山梨県患者会（ほっこりMS）	090-3509-6753 （代表　小林史晃）
日本筋ジストロフィー協会 山梨支部	080-3014-9244 （支部長　田崎輝美）

編集後記　:6月12日、多発性硬化症・視神経脊髄炎山梨県患者会（ほっこりMS）の第2回定期総会・学習会に出席しました。患者数17名の患者会ですが、「同じ疾患の患者同士が語り合える場」を求めて発足し、3年目を迎えています。
　難病患者さんにとって患者会の運営は、体調に波のある病気だけに大変な時もあるでしょう。思うように進まない時もあるかもしれません。
　何かを生み出すことは大変なエネルギーを必要とします。成し遂げることも大切ですが、そのプロセスの中で、何を考え、どのようなつながりが生まれ、何を得たのかがとても大切なような気がします。
　ほっこりMSの勉強会は、顧問の先生を囲んで、アットホームな勉強会でした。得られた情報とともに、参加者は、何か暖かいものを持ち帰られたのではないかと感じました。

山梨県難病相談支援センターは、平成17年6月に開設され、山梨県難病・疾病団体連絡協議会（山梨難病連）が県からの委託を受け、事業の運営を行っています。

- 利用対象者は、難病の患者さんやそのご家族、難病支援関係者です。
- 相談は無料です。
- 相談内容は、守秘を厳守致します。
- 相談受付は月曜日～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）
  9:00～12:00・13:00～16:00
- 面接相談は予約制ですので、事前にご連絡下さい。
  ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０５５－２２３－３２４１
- 場所　遊亀公園前、中北保健福祉事務所１階
- ホームページから事業、制度利用、就労、患者会の情報などがご覧いただけます。

山梨県難病相談・支援センター　検索

難病相談支援センターは、中北保健福祉事務所（保健所）の1階にあります。

地　図